

景観形成基準チェックリスト（工作物・開発行為）

丘陵地景観ゾーン

記入者	
行為の場所	さくら市

(市記入欄)

項目	景観形成基準	チェック欄	具体的な取組み又は工夫の内容	適否
さく、塀、垣、擁壁等	●高い構造とならないよう配慮するとともに、生垣、石積み、木材等の自然素材を使用するよう努める。困難な場合は、これに準ずる工夫を行う。	<input type="checkbox"/>		
	●周辺の自然景観や建築物と調和するよう配慮する。	<input type="checkbox"/>		
煙突、記念塔、高架水槽、広告塔等	●良好な眺望景観、自然景観を損なわないよう配置に配慮する。	<input type="checkbox"/>		
	●工作物の形態意匠、色彩、緑化等については、建築物に準じて周辺の自然景観と調和したものとなるよう工夫する。	<input type="checkbox"/>		
電線路又は空中線の支持物	●形態意匠はシンプルなものとする。	<input type="checkbox"/>		
	●色彩は良好な眺望景観や背景の山並み景観を損ねないように配慮する。	<input type="checkbox"/>		
	●共架に努め、数が少なくなるよう工夫する。	<input type="checkbox"/>		
観覧車、プラント施設、貯蔵施設、処理施設等	●良好な眺望景観、自然景観を損なわないよう配置に配慮する。	<input type="checkbox"/>		
	●工作物の形態意匠、色彩、緑化等については、建築物に準じて周辺の自然景観と調和したものとなるよう工夫する。	<input type="checkbox"/>		
再生可能エネルギー関連施設	●良好な景観眺望を損なわないよう、目立たない位置に設置するとともに、周辺の樹林を超えない高さ、緑化による遮蔽、目立たない色彩や反射の少ない素材を採用する等景観に配慮する。	<input type="checkbox"/>		
開発行為	●自然の地形を活かし、土地の形質の変更は必要最小限に抑え、るとともに、大きな法面や擁壁等を生じないように努める。	<input type="checkbox"/>		
	●法面を必要とする場合は、緩やかな勾配とし、地域の風土にあった樹木等により緑化に努める。	<input type="checkbox"/>		
	●擁壁は、周辺の自然景観に調和するよう、修景の工夫に努める。	<input type="checkbox"/>		

※適否欄は記入不要です。